

放射線管理区域測定等業務特記仕様書

この仕様書は、放射線管理区域測定等の大要を示すものであって、現場の状況に応じ、ここに記載されていない事項についても誠意をもって、行うものとする。

1 業務場所

埼玉県熊谷市板井 1 6 9 6 番地

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

2 業務内容

(1) 放射線管理区域等の測定業務

次の方法により放射性表面汚染密度測定・空気中の放射性物質濃度測定等を月 1 回、線量当量測定を月 1 回または 6 か月に 1 回行い記録集計し報告すること。

ア 放射性表面密度測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が別に定める場所については、月 1 回測定すること。(清掃前 1 8 箇所、清掃後 1 2 箇所、計 3 0 箇所／月)

※別紙 1－1、1－2

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

イ 1 c m 線量当量率測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が別に定める場所については、月 1 回測定すること。(2 2 箇所)

※別紙 2

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

ウ 空気中の放射性物質濃度測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者及び第一種作業環境測定士が別に定める場所について、月 1 回測定すること。(3 箇所)

※別紙 3

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

エ 医療用電子加速装置の中性子漏洩線量測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が別に定める場所について、6 か月に 1 回測定すること。(4 5 箇所)

※別紙 4

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

オ X線診療室 漏洩線量測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が指定する X 線診療室 1 6 室については環境用ルミネスバッジを用いた積算測定を 6 か月に 1 回実施すること。(9 2 箇所)

※別紙 5 - 1 ~ 5 - 8

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

カ 血液照射装置 漏洩線量測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が指定する血液照射室周辺については、6 か月に 1 回測定すること。(5 箇所)

※別紙 6

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

キ 医療用電子加速装置、血液照射装置の事業所境界等における漏洩線量測定

(ア) 測定場所

放射線取扱主任者が別に定める場所については、6 か月に 1 回測定すること。(5 箇所)

※別紙 7

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

(2) 放射性排水処理槽における測定業務

ア 放射性排水処理槽の放射性廃液測定

次の方法により放射性排水の放射能測定を行い記録集計し、報告すること。

(ア) 採取箇所

放射線取扱主任者が別に定める場所とする。(年間 6 検体)

(イ) 報 告

測定結果を記録集計し、検査終了後速やかに所定の様式により報告すること。

イ 放射性排水処理槽の清掃

(ア) 作業場所	R I 排水処理槽	浄化槽	1 槽
		分配槽	1 槽
		貯留槽 (2 8 . 7 m ³)	3 槽
		希釈槽 (2 8 . 7 m ³)	1 槽

(イ) 作業回数 年1回とする。

(ウ) 作業内容 全槽の排水中放射能濃度測定後、槽内を高圧洗浄機により洗浄する。
清掃後、設備点検を行うこと。

(エ) 報 告

作業終了後、作業内容について、所定の様式により速やかに報告すること。

(3) フィルターの交換

ア 交換回数

フィルター交換を年1回(10月)実施する。

イ 交換内容

(ア) プレフィルター (アマガラス: 610×610×50mm/mA1 枠付き) 5枚

(イ) 高性能フィルター (アストロセル: 610×610×292mm/m 焼却減容型) 5枚

(ウ) 活性炭フィルター (チャコールフィルター: 610×610×292mm/m 焼却減容型) 5枚

(エ) PVCバック (小) 5枚

(オ) PVCバック (大) 10枚

ウ 交換方法

放射線取扱主任者の指示により、フィルターをバンクから取外し、支給されたフィルターをバンクに装着する。

使用済みフィルターは、公益社団法人日本アイソトープ協会の指定した方法により梱包し、表面線量を測定の上、固体廃棄物として、保管廃棄設備まで運搬保管する。

(4) 放射線管理区域の清掃業務

ア 作業範囲

R I 関係放射線管理区域

イ 作業内容

(ア) 日常清掃 (週3回)

屑かご、汚物入れの処理、便所、シャワー室、トイレトペーパー、消毒液の補充、床清掃等

(イ) 定期清掃 (月1回)

床はき、モップ拭き、床の洗浄、ワックス塗り磨き

(ウ) 定期清掃 (年1回)

ガラス磨き、金具磨き並びにブラインド、照明器具、空調吹出・吸込口等の清掃

ウ 用具の放射線測定等

用具は、作業毎に放射線測定を行い、使用した器具は一定の場所に保管すること。

エ 作業の手直し

作業内容がこの仕様書に適合しないと認めたとき、監督員又は放射線取扱主任者は、その作業を手直しをさせることができる。

(5) 放射線管理区域の関係設備点検

ア 排水設備点検

放射線取扱主任者が別に定める場所を点検し、別に定める様式により報告すること。

(年2回)

イ 排気設備点検

放射線取扱主任者が別に定める場所を点検し、別に定める様式により報告すること。

(年2回)

3 測定方法等

(1) 測定は当該場所の状況に最も適した方法により行うこと。

(2) 各測定値は以下の測定を保証するものとする。

ア 線量率測定(1cm線量当量率)測定器の測定限界値($< 1 \mu\text{Sv/h}$)

イ 法定の表面密度限度、空気中、排水中濃度限度の1/10以下

(3) 各測定値に関して、トレーサビリティが保証されていること。

(4) 測定の結果、異常値が検出されたとき(法定限度を超えたとき)は、速やかに電話連絡すること。

(5) 当センターにおける許可使用核種は別表1のとおりである。

(6) 水張りテストは、液面高さの24時間変動を測定するものとする。

4 負担区分

委託業務履行のため乙が使用する電力、ガス、給水及び電話の料金の負担は履行場所における、必要最低限のものについては、甲が負担するものとし他は乙の負担とする。

その他委託業務履行のため必要な器材及び、消耗品は乙の負担とする。

(1) フィルター交換作業のフィルター等は、甲が支給する。

(2) 排水及び排気設備点検業務において、修理、交換等においては、1万円を超える作業及び部品について、乙は甲に別途請求する。

5 その他

(1) 乙は「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」及び「埼玉県立循環器・呼吸器病センター放射線障害予防規程」等に定められている事項を遵守するとともに、作業者に対する放射線管理を行うこと。

(2) 監督員又は放射線取扱主任者は、必要があると認めたときには、乙に管理記録を報告させることができる。

(3) 乙は年間業務予定表を提出し、その他詳細については、甲乙が協議するものとする。